

22nd Good Job Conference in Niigata

— 開催のご案内 —

日 時 : 令和 6年 6月 15日 (土) 14:40~16:30

会 場 : ANAクラウンプラザホテル新潟 3階 弥彦
〒950-8531 新潟市中央区万代5-11-20

配 信 : zoomウェビナー **※本会はハイブリッド開催となります。**

プログラム

開会挨拶 14:40~14:45 済生会新潟県央基幹病院 須田 俊輔 先生

技術講演 14:45~15:15 座長: 魚沼基幹病院 放射線技術科 廣田 和也 先生

『SPECT/CT導入にあたって-ファントム実験及び条件検討-』

済生会新潟県央基幹病院 放射線部 須田 俊輔 先生

『SPECT/CTを用いた^{99m}Tc-MAAによる 右左シャント率の新たな測定法』

新潟大学 医学部保健学科 野島 佑太 先生

~ 休憩 ~

核医学DX 15:25~16:30 座長: 新潟市民病院 放射線技術科 神田 英司 先生
渡辺 康夫 先生

基調講演

『核医学の医療被ばく線量管理の標準化と電子化』

PDRファーマ株式会社 ソフト開発室 夜久 英樹

特別講演

『当院における核医学被ばく線量管理の電子化への取り組み(仮)』

国立国際医療研究センター病院 放射線診療部門 RI検査主任 大槻 周平 先生

web視聴を希望をされる方は、記載のQRコードよりご登録下さい。

ご登録には

「お名前・ご施設・ご所属・メールアドレス」が必要になります。

【ご登録用URL】

https://zoom.us/webinar/register/WN_OSWxs7XURii55IZAAqjnWg

本研究会は、日本核医学専門技師認定機構(3単位)

日本核医学技術専門技術者認定制度(1単位)

の認定学術集会となっております。

ご登録用QRコード



主 催: PDRファーマ株式会社
連 絡 先: 営業部 東日本第三支店・小西 03(5250)2631



医療被ばくの電子記録・管理・最適化を支える医療情報システム

国際標準

本製品は、医療情報専門家が研究開発した医療被ばく線量管理システムであり、DICOM規格とIHEによる線量情報の扱いに関する国際標準データフローを満たす製品です。
線量情報は「原則、電子情報」とされており、画像診断、装置や薬剤などの研究開発にも深く関係します。放射線・放射能を用いた画像検査の実態を示す重要なデータ群のため厳格なデータ記録と管理が求められます。



核医学検査以外



SSDE204 SSDE220 SSDE293 CT

CTにおける個人体格を考慮した線量指標である3つのSSDEを瞬時に計算して記録・管理できます。

線量指標 CT CR DX MG PX RF XA

CTDIvol、DLP、DAP、Entrance Doseなど様々な指標を本製品のみで記録・管理できます。治療CTにも対応します。RDSRやヘッダ情報を扱います。

CTの始業点検（水ファントム）CT

始業点検には迅速かつ簡便さが求められます。
JIS規格に基づいた自動ROIのため解析から管理まで簡単に行えます。

超音波検査・MR検査の安全指標 BDUS IVUS MR US

超音波装置やMR装置の安全指標の記録と管理ができます。



核医学検査



雑音等価計数の自動計算 PT

画像（PETまたはCT）を見てタッチするだけでガイドラインに基づくNECを自動算出します。実投与量と画質のバランスを視覚化することで、より最適なPET検査の検討にご利用できます。



実投与量 NM PT



予約情報が入ったモバイル型のontiポータブル2を利用することで放射性薬剤などのQRコード情報を読取後、予約情報と薬剤情報とを自動照合して、使用履歴や実投与量などを電子情報化します。モバイル型のため院内ネットワーク工事が不要です。標準で誤投与アラート機能付です。なお、電子情報はデジタル紙票として利用でき、他社製の紙票管理システムとの連携も可能です。核医学の電子情報化に欠かせない製品です。

医療被ばく線量管理ソフト「onti」会場展示予定 実機操作もお試しいただけます 実機展示時間：16:30～17:30

会場のご案内

ANAクラウンプラザホテル
〒950-8531
新潟市中央区万代5-11-20

新潟駅（万代口より）

タクシー利用 約5分

徒歩 約10分

バス利用 約7分 新潟駅バスターミナル、6番、7番、8番から発車しているバスのいずれかに乗車、「万代ステイ」停留所下車後、徒歩3分。

周辺MAP



新潟駅より徒歩でお越しの場合

